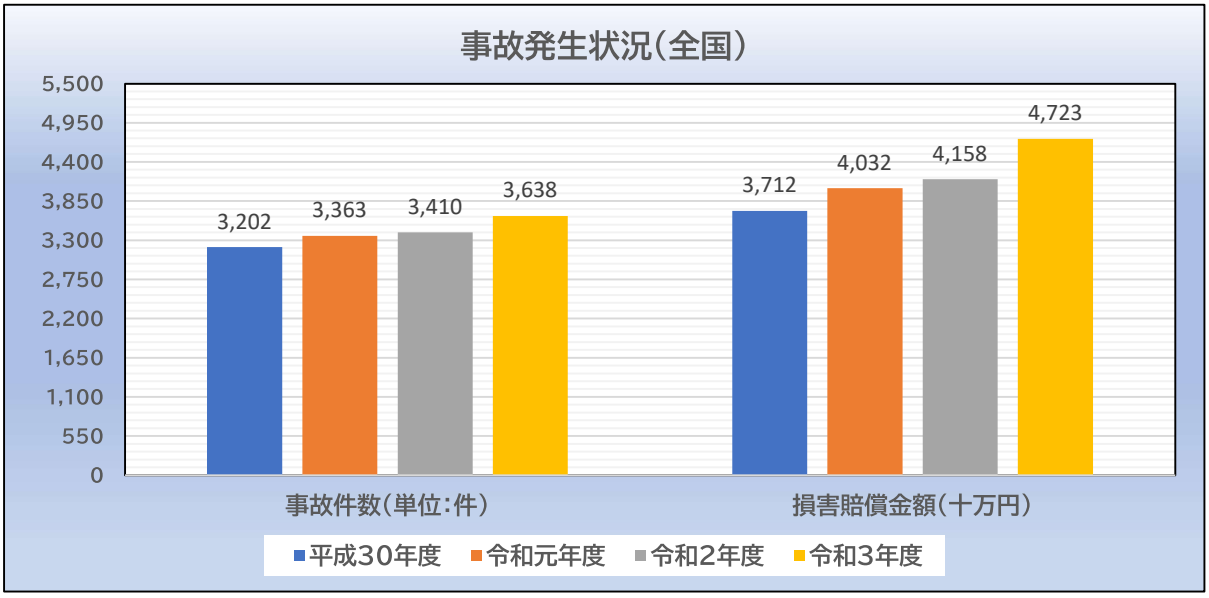
公益社団法人 飯能市シルバー人材センター

令和5年4月1日発行

安全就業ニュース

シルバー事業では、**「安全はすべてに優先する」**をスローガンに就業時における事故防止に努めていますが、令和３年度に全国のシルバー人材センターで発生した損害賠償責任事故は３，６３８件、事故に伴う損害賠償金額は４億７，２３０万円と年々増加している状況であり、令和５年度にはシルバー保険の保険料が２０％程度引き上げとなる予定です。

当センターにおいても、毎年複数の事故が発生しています。新年度は**「事故ゼロ」**となるよう皆様のご協力をお願いします。



◆当センターにおける事故発生状況

過去５年間の事故件数の推移（派遣による事故は除く）

種　　別	令元	令2	令3	令4
◇シルバー保険				
①傷害保険（就業中のケガによる補償）	4件	7件	3件	2件
②賠償責任保険（就業中の事故による人や財物への賠償）	3件	2件	4件	5件
◇車両保険（社用車による事故）	0件	2件	1件	0件
計	7件	11件	8件	7件

令和４年度の保険適用事故は次頁のとおりです。傷害保険では植木剪定中の落下事故が２件、賠償責任保険では草刈作業中の飛び石による物損事故が２件発生しています。いずれの事故も『危険性の認知』や『安全確認』を行っていれば防げた事故です。就業の際には安全対策の徹底をお願いします。

① 傷害保険　２件

	発生日	事　故　の　状　況	入院等
1	9 月 15 日 午前 11:30 頃	側溝脇の狭い場所に梯子を立て垣根を剪定していたところ、梯子がずれ、バランスを崩して側溝に落下し、頚椎を損傷した。(60 代男性)	入院 16 日 通院 14 日
2	12 月 5 日 午前 10:30 頃	梯子を使用し植木を剪定していたところ、バランスを崩し、約２ｍの高さから仰向けの状態で落下し、右大腿骨を骨折した。(60 代男性)	入院 35 日 リハビリ中

② 賠償責任保険　５件

	発生日	事　故　の　状　況	損害額
1	5 月 16 日 午後 2:00 頃	道路脇で草刈作業をしていたところ、飛び石ネットを使用していたが、ネットの隙間から小石が飛び、走行車両の窓ガラスを破損させてしまった。(80 代男性)	231,693 円
2	5 月 25 日 午前 10:30 頃	スーパー駐車場内でカート回収作業をしていたところ、徐行運転中の車にカートをぶつけてしまい、左前バンパーを傷つけてしまった。(70 代男性)	147,708 円
3	7 月 12 日 午前 10:00 頃	法面で草刈作業をしていたところ、高く伸びていた草に隠れていたため気づかず、植栽してあったハナミズキ９本を根元から伐採してしまった。(70 代男性)	55,620 円
4	7 月 28 日 午後 2:00 頃	防草シートの張替え作業をおこなっていたところ、シートを留める金具を打ち込んだ際に、地中に埋まっていたガス管を破損させてしまった。(60 代男性)	55,660 円
5	1 月 11 日 午前 11:00 頃	草刈作業をしていたところ、飛び石ネットを使用していたが、ネットの隙間から小石が飛んで、駐車中の車のリアガラスを破損させてしまった。(60 代男性)	19,470 円

◆安全委員会の活動報告

令和５年１月２０日と３月１６日に安全委員会を開催し、今年度に発生した事故報告とともに事故防止対策について話し合い、１月２４日～３１日にかけては、市内１９箇所の就業パトロール及び安全指導を実施しました。また、２月１７日には、「交通安全・防犯講習会」を開催しました。コロナ禍により約３年ぶりの開催となりましたが、多くの会員に参加していただきました。

○安全委員会　【委員長】　金山　哲　【副委員長】　野口 秀夫
（令和５年度）　【委　員】　橋場 弘次　鈴木 幸雄　田中　渡　原島 諄吉　加治 成介

◆派遣事業に係る安全衛生委員会の活動報告

派遣事業に従事する会員が常時５０人以上いる事業所では、産業医及び安全衛生委員会を設置することとされています。当センターでは、派遣元である連合（いきいき埼玉）と連携し、令和４年４月に安全衛生委員会を設置し、派遣会員への安全衛生管理に関する対策を行っています。

令和４年度は委員会を計６回開催し、１２月には派遣就業２年未満の会員を対象とした研修会（教育訓練）を実施しました。

（安全衛生委員会）
産 業 医　　牛久保 修
会員代表　　嘉指 義和
会員代表　　大野 康幸
事 務 局　　清水　孝
事 務 局　　酒井 健至

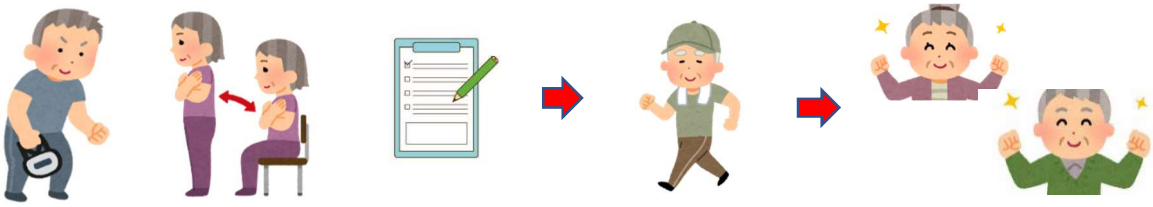
派遣事業を開始した平成２８年４月から令和４年３月までに発生した派遣業務に関する事故発生状況は以下のとおりです。なお、派遣事業における事故は労災事故となります。

	発生日	事　故　の　状　況	入院等
1	令和元年 7 月 29 日	作業終了後に清掃をしていたところ、熱中症で体調が悪くなり、しばらく休んでいたが回復しなかったため、救急車で病院に搬送された。(70 代男性)	通院２日
2	令和２年 9 月 18 日	ベルトコンベアで割れたビンの色分け作業中、手袋を二重にしていたが、尖ったガラス瓶を箱に入れようと持ち上げた際に誤って右手親指外側を３㎝ほど切ってしまい３針縫った。(70 代男性)	通院３日
3	令和３年 10 月 21 日	大きな袋にビニール袋等を詰め込む作業をしていたが、一杯となった袋を縛るため二人がかりで引っ張ったところ、右手の薬指の腱を切断してしまった。(70 代男性)	通院 13 日

◆フレイル予防について　安全就業は体力作りから!!

フレイルとは、わかりやすく言えば**「加齢により心身が老い衰えた状態」**のことを言い、フレイル状態になっていると、就業中の転倒による事故や病気にかかった場合の重症化リスクが高まります。フレイルは早く気づいて対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性があります。そのためには、自分自身の身体機能や認知機能の状態を知ることが重要です。

センターでは、希望される会員に**「フレイル予防測定シート」**を交付し、定期的に筋力や俊敏性などの測定を行っています。現在の状態を確認したい方は、事務局にお声かけください。



まずは筋力等の状態をチェック　→　適度な運動　→　改善

◆令和５年3月13日以降のマスク着用の考え方について

令和５年３月１３日以降のマスク着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることとなりました。これにともない、会員の就業時におけるマスクの着用も会員個々の判断で行うこととなります。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるようご配慮をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

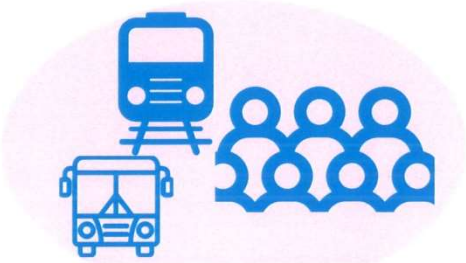
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です

高齢者

慢性肝臓病
がん
心血管疾患　など

基礎疾患を有する方

妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

作成：令和5年2月10日

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare